

# 剣道

No. 164

7, 8月号

三木市剣道連盟

広報部

2012(平成24)年

9月12日(木)

発行

○第60回東播地区親善剣道大会(1, 2面) ○長野旗大会(2, 3面)

○青野原駐屯地司令杯(3面) ○県警察少年剣道大会、中学校大会結果(4面) ○ひょうご生涯スポーツ大会・木刀による剣道講習会(5面) ○ゴールドエンイジ報告(6面) ○防具担いで交剣知愛・月々の便り(7・8面)

(<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)でもご覧いただけます。PDFでカラー印刷できます。

## 各市の意地激突!

## 三木、あと一歩及ばず

## 第60回東播地区親善剣道大会

本年、我が三木市剣道連盟も創立60周年を迎えるが、その同じ60年もの間続いている本大会、各市とも各々面目にかけて試合に力が入るのは当然のことだ。

本年度は節目の年でもあって、功勞者表彰があり、新調の優勝旗も披露された。

焼けつくような、摂氏35度Cを超える日が連日続く中、8月18日(日)加東市滝野総合公園体育館スカイピアで大会は行われた。

早朝、8時過ぎに三木を出た選手・審判・応援の約20名は、早々と会場に到着。試合に先立つ合同稽古に参



新調の優勝旗

加すべく、到着と同時に剣道着に着替える。

約40分間の稽古の後、開会式が行

われ、優勝旗並びに兵庫県剣道連盟杯が返還された後、真さらの新優勝旗が披露された。大会の名称も今年から「東播地区親善剣道大会」に変わる。役員挨拶、祝辞の後、功勞者表彰があり、各市推薦の16名に交じって、三木市から田畑修・小椋治朗の両氏が「斯道」に貢献された先生」として表彰を受けた。

### 江村直子、3位入賞

### 女子個人3段以下の部

試合は11時から、男女の個人戦が始まった。男子個人戦は32名が出場、三木からは加村友多、稲岡稔博両氏が出場した。

女子個人戦は3段以下の部で平井敦子、江村直子が出場。平井は緒戦切れの良い出小手が決まったが2回戦高砂の藤井磨弥に敗れた。江村は2勝して3位に食い込んだ。

団体戦は、4つの試合場で、4チームが総当たりりのリーグ戦。リーグ戦を勝ち上がれば3位以上は確実だ。我が三木市はこれまで

リーグ戦突破の実績はあるが、それ以上となると、壁を破れずにいる。今年こそとひそかに心に期しながら団体戦に臨む。

三木市Aは、加古郡A、西脇市A、加西市Aとのリーグ戦。第一戦は加西市Aと3-0で幸先よいスタートを切る。第2試合で西脇市Aと対戦。先鋒各務が一



キャプテンの責任でなんとか挽回したい松本克基選手

小林敗れて早王手。副将松本の挽回が期待されたが、相手西田も懸命に守って崩せない。結局引き分けて、ベテラン大将上田に



王者の風格上田和紀選手(右)

託す。逆転勝利を祈ったが、相手大将村井は終始冷静で、粘り強い竹刀さばきだ。何とかしたい上田の焦りに付け込み近間のドウを抜いて、そのまま時間切れとなった。終わってみれば3-1の大差。最後の試合加古郡Aとは5-0で完勝したが予選落ちした。

一方Bチームは、第一試合で加西市Bに早くも3-2で敗れ加古郡Bとは4-1、西脇市Bとも4-0で大きく引き離して勝利を得たものの、これまたリーグ脱出はかなわなかった。この結果でもわかるとおり、各市とも試合巧者をこの日に集め、事前の稽古もたっぷりやって当日に臨んでいる。選手層の薄い当市がそれらを凌駕することは並大抵のことではあるまい。日常の、目的意識を持った稽古の積み重ねが大切だ。経験だけでは勝てないことがよくわかった。若い力を育てることが今後の我が連盟の課題であろう。

会場の体育館は肝心のアーリーナに冷房が入っておらず、選手にとっても応援団にとっても過酷な一日だった。各市一名ずつの優秀選手に、高尾英夫選手が選ばれた。



# 若衆頭西本燃える

## 第49回長野旗争奪剣道優勝大会

夏の本命「東播地区親善剣道大会」を半月後に控えた8月4日(日)、姫路の県立武道館で行われた「第49回長野旗争奪剣道優勝大会」には、我が三木市剣道連盟は5チームを編成して試合に臨んだ。

この大会への参加を、来るべき東播地区親善大会への力試しと位置付け、強く勧めたのは故安栖敏夫三木市剣道連盟指導顧問だった。

初めて参加した3年前、初陣にしてベスト8に食い込み、「三木市剣道連盟はなかなかやる！」と以前から参加していた職場チームから注目されたものだったが、その勢いを駆って、東播親善大会では連続3年3位入賞を果たしたのであった。

さて、本年度は、3年前のベスト8の、松本克基キャプテンでチームをまとめるベテラン組「三木剣道」と、若者たちを集め、西本英一郎キャプテン率いる「三木中央」チーム。持ち味が

違うこの2チームで試合場に乗り込んだのであった。

本年度は、選手以上に張り切っていた安栖先生既になく、跡を継いだ小椋治朗成人指導部長が総指揮をとった。



負け知らず、若武者山口の奮戦(右)

「三木剣道チームは、緒戦、「龍鳳会」と当たり、先鋒上野が引き分けたものの、次鋒以下が揃って勝

ち4-0で快勝。続く「加古川刑務所」戦では、接戦したが2-1で敗れた。ちなみに「加古川刑務



初陣で張り切る上野選手(右)

所」チームは全国の刑務官対抗試合で優勝を飾った実力チームで、今大会でも見事優勝している。一方、若武者を集めた「三木中央」チームは、2回戦からの登場。いきなり強敵の「川崎重工神戸」とぶつかる。同チームは、すでに高砂の「青波剣友会」を破つての2回戦進出である。

先鋒山口メンの一本勝ち。次鋒前川ド、ユテを奪われ二本負け、中堅藤田がメン二本で取り返し、副将小阪がドを奪われ、2-2で本数も同じ。ここであふれる闘志でキャプテンの責任を果たしたのが大将の西本であった。大将戦は引き分けて決着がつかず、代表戦となる。相手大将は西脇出身で以前からライバル視している黒崎祐司選手。互いに譲ら



ず、最後に西本のメンが決まった。西本の闘志と責任感が圧倒したか。

3回戦は「実栗剣道連盟」。このチームは強かった。若者はかりの三木チームは大いに経験不足。先鋒山口引き分けのあとは、4連敗して完敗した。しかし、若い力が西本を中心に一致団結して相手にぶつかっていたのは、末頼もしく、次に希望が持てる試合ぶりだった。

なお、三木から唯一小学生の部で出場した「三木中央教室」チームは、予選リーグで「朝日新聞」「明剣明武館」を破りリーグ脱出、隣のブロックから勝ち上がったきた名門「新宮剣志館」チームと互角に戦い、2-2の本数負けて涙をのんだ。大健闘といえる。

(報告 高橋洋三)

## 猛暑に負けず

## 熱戦展開

### 第6回青野原駐屯地

### 司令杯少年剣道大会

青野原駐屯地主催、三木市剣道連盟主管の「第6回青野原駐屯地司令杯少年剣道大会」は猛烈な炎天が続

く、8月3日(土)、同駐屯地体育館を会場に開催された。

今大会は、平成19年から数えて6回目平23年は東日本大震災の影響で中止の開催となり、三木市、小野市、加東市以外にも篠山市など6市1町から過去最多の17団体217名の小・中学生が参加した。



試合に先立つ開会式では、駐屯地司令、宮本一佐から「暑さに負けず、且つ勝ちにこだわり、頑張ってください。」との選手激励の挨拶があり、出場選手を代表して緑が丘スポーツ少年団剣道クラブの森岡祥平君が力強い宣誓でそれに応えた。

試合は各学年毎の9部に分かれて個人戦形式で行われ、体育館内34度を超える猛暑の中、選手たちは元氣いっぱい、「勝ちにこだわり」、「日ごろの練習結果を遺憾なく発揮して、試合を展開した。

大会関係者が心配していた熱中症



患者を一人も出すことなく、大会は無事終了した。

### 試合結果(入賞者)

#### ○小学生1・2年の部

- 【優勝】 森本隆文(吉川)
- 【準優勝】 高平行栄(西脇)
- 【3位】 有延秀太郎(中町)
- 小学生3年生の部
- 【優勝】 照井葉生(志染)
- 【準優勝】 金井秀真(志染)
- 【3位】 東 隆啓(三木中央)

#### ○小学生4年生の部

- 【優勝】 藤本圭人(小野柳心館)
- 【準優勝】 飯田日向(小野柳心館)
- 【3位】 加村 蓮(三木中央)

#### ○小学生5年生男子の部

- 【優勝】 橋間祐仁(吉川)
- 【準優勝】 大前史央志染
- 【3位】 三田井龍馬(北条)
- 小学生5年生女子の部
- 【優勝】 櫻井愛莉(北条)
- 【準優勝】 岩崎千郷(北条)
- 【3位】 磯田梨心(小野柳心館)

#### ○小学生6年生男子の部

- 【優勝】 藤本卓弥(小野柳心館)
- 【準優勝】 森岡祥平(緑が丘)
- 【3位】 生田龍平(別所)
- 小学生6年生女子の部
- 【優勝】 藤原明日香(柳心館)
- 【準優勝】 西野 瞳(柳心館)
- 【3位】 長谷川仁菜(加西)

#### ○中学生男子の部

- 【優勝】 森口優也(高城)
- 【準優勝】 橋間祐生(吉川)
- 【3位】 杉岡 要(日野)
- 中学生女子の部
- 【優勝】 遠藤史央里(西脇)
- 【準優勝】 三藤暢子(吉川)
- 【3位】 高田緋香里(加西)

(報告 中谷忠資)



## 第26回兵庫県警察少年剣道大会

### 三木チーム決勝トーナメント進出ならず

8月2日(金)、第26回兵庫県警察少年剣道大会が明石中央体育館にて開催され、三木市は、吉川、自由、別所の連合にてチームを編成して臨みました。

各警察署対抗、県下45チームにより優勝が争われました。三木チームは、予選リーグ戦において、まず赤穂署と戦い、先鋒から副将まで敗れる結果となり、その中で、大將石原が意地を見せ小手を決め勝利しましたが、1対4となつてしまいました。

続いて、豊岡北署と対戦し、先鋒引分け、次鋒石田が面の一本勝ち、中堅引分け、副將横山が面と反則の二本勝ち、大將石原が面と反則の二本勝ちとなり、3対0で勝利しました。

しかし赤穂が予選リーグで2勝し、残念ながら決勝トーナメントに進出できませんでした。

昨年の準優勝チームでもあるので好結果を期待したのですが、つなぎの剣道ができませんでした。やはり混成

チームであり、合同稽古も充分にできなかつたので、チームの一体感ができていなかったように思います。今後はできれば複数回の合同稽古が必要と強く感じました。

今回も三木署の皆さんに大変お世話になり選手達は、がんばりましたが無念の予選敗退でした。(藤田 均)

## 自由中が圧勝 三木市中学校総体

6月29日(土)、三木中学校体育館に於いて「三木市総合体育大会剣道部」が行われ、三木市剣道連盟会員ら(神澤正輝副会長以下15名)が審判員として参加した。

午前9時に始まった開会式には、土肥三木中学校校長、松本三木市教育長らも参列し、選手らを激励した。

市内の中学校には剣道部が2校しかなく、(三木中・自由中)出場し

た選手も総勢で22名(男19、女3)と少なかつた。人数が少ない分、時間にゆとりがあり、出場した選手は、全員総当たりのリーグ戦を戦い、決勝トーナメントに進出する。

男子個人では、決勝トーナメントに進出した12名の内半数の6名が自由が丘中勢だつた。

結局個人戦で優勝したのは、自由が丘中主将で、選手宣誓もした今福太一、決勝で涙をのんだのは僚友の横山暖、3位に三木東中から唯一出場の赤松伸哉と、自由中の鈴木斗麻が入つた。

女子個人は、自由中の内村友美が他の二人を寄せ付けず、優勝した。

団体戦は2チームしかなく、以前は実力が互角でいい勝負をしたこともあったが、ここ2年ほどは自由中が圧勝し、両者には力の差が大きかつた。

試合の後、三木市剣道連盟の会員らを元立ちに、けいこに汗を流して終わった。

## 三木勢惨敗

### 第35回東播地区中学校 総合体育大会剣道競技大会

7月20日(土)・21日(日)、小野市匠台公園体育館で行われた「第35回東播地区中学校総合体育大会剣道競技大会」は、各地区予選を勝ち抜いた代表間で争われ、三木市からは、団体戦に自由が丘中、個人戦は自由中、三木東中の剣道部員らが出場した。

20日は男子個人戦と女子団体戦。三木市は男子個人で先の三木市総体剣道の部で入賞した4名が出場したが、一回戦で早々と敗退した。

結果は、一回戦、横山(自由)加古川地区中部中三浦に、鈴木自由(中部、岡田)に、赤松(三木東)、中部藤原に、それぞれ敗退。今福(自由)は2回戦までいったが、加西市北条の二宮に敗退した。

翌21日は、男子団体と女子個人戦。予選で三木中を圧倒的に降して出場した自由中だつたが、加古川2位の氷丘中に緒戦で0-4の大敗を喫し、惨敗した。

